

「言えないコイゴコロ」

21生 平野 詩歩

いつからだろう 君に伝えたい言葉があるよ  
変わることに怖いから 今もまだ言えずにいるけど  
君の横顔見つめて 心の中でつぶやくだけで  
今の私には それが精一杯だから

いつまでも 今という時間が続くとは思ってない  
だけど言葉にすれば 終わってしまうかもしれない  
初めての助手席 ハンドル握る君の手  
気持ちにブレーキかけて 他愛のない話をした

イベント終わりとか 誕生日に贈るメール  
君だけに気づいてほしい 秘密の暗号を込める  
鈍感だと私のこと 笑う君の背中になら  
伝えたい二文字も 簡単に言えてしまうのに

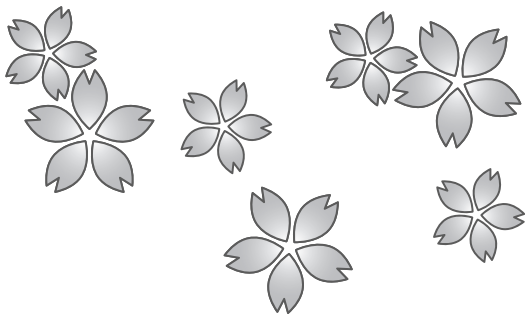
君のくれた改行の少ない 短いメールも  
くだらないつぶやきに 答えてくれる優しさも  
失うことが怖いなんて らしくないかな  
こんなに臆病な私 今まで知らなかったよ

白い雪が舞う 夜明け前の星空の下  
寒い車内には 心地の良い沈黙  
今なら言える？ 時間よ止まれと願うけど

言えなかった言葉は 白い息にとけた

あと何回 君と笑いあえるのかな？  
あといくつの 季節を過ごせるだろう？  
手のひらに 舞い降りた桜の花びら  
思い出だけが 心につもってく

いつか君に届け この想い  
いつか君に 言えますように…



問題

パブロフは去年初めて日本でも発見された。情緒不安定であったことから、「大人のパブロフに間違いなーああくい」と、鼻息荒く大人のターザンが証言している。その後、ターザンを射殺しました。

問一 もう一つのパブロフの使い方を教えよ

問二 パブロフで何がはさめますか

問三 パブロフの使い方をもう一個だけ教えてください、お金は払いますから

解答

問一 だいじょーぶーパブロフもったしー

問二 パブパイの実ロフ

問三 くにもかかわらず

解説

問一 超難問。新傾向の問題で、余計なお世話であると思うが、作成者の性格は悪いと考える。私事ではあるが十一月に子どもが生まれました。

問二 最初は半信半疑で挟んでみたが、今思うと、なんていうか、言葉に、ならない。たけしという名前にしようと思う。

問三 んんひひ貧貧んひ貧ん・・・こらっ勝手に書きちゃダメじゃないか、たけし。

最近の音楽はやたらと恋愛しただがっている。そう。「会いたい」というフレーズに溢れているのだ。そこで、今までの歌手で、どれだけの歌手が会いたがっているのかを本気出して考えてみた。

会いたくて会いたくて震えるのが 西野カナ

会いたくて会えないから私だけを見て欲しいのが 加藤ミリヤ

会いたくて会いたくて

せめて声が聞きたくて用もなく電話するのが 浜崎あゆみ

会いたかったのが AKB48

さらに

会いたくて会いたくて言葉にできないのが 小田和正

会いたくて会いたくて

どうしようもないほど好きだったのが HOME MADE 家族

会いたくて会えなくて長すぎる夜に光を探しているのが GLAY

会えない夜にあなたを思うほど Uh Uhするのも GLAY

歌手の選択には独断と偏見に満ちているが、それにしても歌手は会えなさすぎだ。やはり忙しいからなのだろうか。

今年の冬は寒すぎた。いかにも人肌が恋しくなるのかも、身に染みて感じる。だが、春はもうそこまで来ている。

新入生も入ってくるが、今年は何人新たな知り合いができるだろうか。今まで会ったことのない人やものに「会いたくて……」。

大学入学前の春休み、ずっと大学生活のことをあれこれ考えては、浮かれていた。生まれ育った地を離れて、初めての広島での一人暮らし。部屋を決めたり、電化製品を揃えたり、必要書類を記入したり。その合間々に大学ですることを考えた。そのうちの一つが車の免許を取ることだ。原付の免許を春休みのうちに取ってしまおうかと思った。それ用の本を本屋で買ったりもしたが、結局いろいろな準備で忙しくて、行く時間がなかった。

大学にもすっかり慣れたころ、原付の免許を取るより車の免許をさっさと取ればいだろうと思いい、一年生の春休みに自動車学校に入校した。2月の半ばだった。ただ、ここで一つの誤算があった。一年の春休みが予想以上の忙しさだったのだ。主な原因はもちろんあの展開研究の準備だが、さらに、新入生歓迎会、オリキャンの準備もしなければならなかった。フェローと比べれば忙しさは知れているのだろうが、しかし仕事がこまごまとあったように思う。また、初めて車に乗って技能教習を受けたとき、もっと丁寧に教えてくれるものと思っていたら、ずっと教官に小言を言われている気がした。初めからそんなに上手にできへんやろ、と憂鬱な気分になり行くのが嫌になった。春休みはどうとう2回しか車に乗らなかった。しかし、普通は、春休みが終わり、オリキャンも展開研究も区切りがつけば、また教習所に行くべきだった。だが結果から言えば、行かなかった。

3セメスター（2年の前期）は大学にも周りの環境にも慣れ、すっかり中だるみしてしまい、色々なことが面倒くさくて、教習をサボり続け

た。夏休み。友達と旅行で沖縄に来ていた。そこで、誰々が免許を取るのに7カ月もかかった、という話になった。ふと自分のことを思った。入校は2月で、今は9月。もう8カ月たっている計算になる。友達に4月に入校したのにまだ2回しか乗っていない、と言うと、普段ふざけている彼が真剣な顔でそれはヤバイ、と言った。教習期限は11月12日。さすがに自分の置かれている状況を思い知り、入校にかかった金額の大きさを思い出し、行かなければ、と自分に誓った。西条に帰ってきたら、早速予約を入れられるだけ入れた。夏休みの終盤は、ほぼ毎日教習所に通い、車に乗った。

しかし、どうやら自分には運転が向いていないらしい、と思いついた。坂道発進では、クラッチの戻し加減が掴めず、2回も補習がついた。結局第一段階を終えるまでに計6回の補習。時間が無いのに補習がどんどんついて、あせった。教習所へ行くバスに乗る時、嫌で嫌でしょうがなかった。

バイト先で教習の話をする、社員の人が驚くほど食いついてきた。ミッションで免許を取ると言う、社員の人の、お前本当にアホじゃのう、ミッションに乗る機会なんて、そうそう無い、オートマで十分なのに、ミッションの方が教習費が高くつくやろが、だいたいこれからは電気自動車の時代やけえ、などと散々言われた。ミッションにしたことを少し後悔した。

仮免許試験は六回も補習を受けたかいあって、技能も学科も一発で合格できた。第二段階はそれまでの補習の日々がうそのように順調に進んだ。11月9日に補習ゼロで全ての教習を終え、あとは卒検だけになった。この日は、なんとか期限の二日前に間に合わせたことに本当にほっとした。

このまま卒検も一気に取ってしまおうと思っていたら、細かいミスを連発して試験に2回落ちてしまった。何だか一気に力が抜けてしまった。そして今、この文章を書いている4日後が3度目の試験。何とか今度こそ受かって、教習を少しでも早く終わらせたい。早く楽になりたい。本当に。

これから免許を取ろうとする人は、僕のようにならない方が良くと思います。



## 「飛翔な日々」

22 生 井上 知紀

総合科学部に入って一年経ちました。

その間に僕は、

- ・法律の勉強をするために六法を買いました。
  - ・会計の勉強をするために簿記を勉強しました。
  - ・英語の勉強としてペーパーバックを買いました。
- そんな僕は何学部？もちろん、総合科学部です。

法・経済・文学部では、それぞれに特化した勉強が待っているでしょう。

ですが、僕は法律制度そのものの存在意義や、国家が経済市場にどのように介入すればよいのかというような議論に、申し訳ないが興味を見出せませんでした。

総合科学部はこんなわがままな人間も受け入れてくれる、いい学部だと思います。

一年生の必修授業で、展開研究という授業があります。

ガツガツガチの文系な僕ですが、テーマはブドウ糖と脳細胞の関係についてです。

ブドウ糖が分解されそして脳によって消費されるまでに関わってくる、物質の組成や血液成分などの単語は、文系の僕には初耳で意味不明なものばかりです。

このように文系人間にとって無謀なテーマさえもフォローしてくれる総合科学部は、いい学部だと思います。